

外国の所属機関による証明書

(団体監理型技能実習)

技能実習生 (候補者を含む。) について、下記の事項を証明し記

●漢字の氏名がある場合であっても、ローマ字の氏名のみ記載で足り、漢字の氏名の記載は省略可。

①技能実習生の氏名 ※ 複数名について記載する場合には適宜欄を追加すること。記載しきれない場合には、別紙に記載することも可とし、当欄には「別紙のとおり」と記載すること。	ローマ字	TEI HEIOTU	所属事業所 所属部署	〇〇公司×× (雇用形態: ■常勤 □非常勤)
	漢字		職種	惣菜加工
	ローマ字	BOKI KOU	所属事業所 所属部署	〇〇公司×× (雇用形態: ■常勤 □非常勤)
	漢字		職種	惣菜加工
	ローマ字	SHIN JINKI	所属事業所 所属部署	〇〇公司×× (雇用形態: ■常勤 □非常勤)
	漢字		職種	惣菜加工
②技能実習の期間中の処遇	<input type="checkbox"/> 技能実習生との関係を継続 (「現職にとどめる」、「休職とする」など) <input checked="" type="checkbox"/> 退職 <input type="checkbox"/> その他 (<div data-bbox="810 1003 1414 1406" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>●必ずしも、②で「技能実習生との関係を継続」が、③で「復職」が、選択されなければならない訳ではありません。 ただし、これら以外を選択した場合にあっては、「帰国後に技能実習生が修得等した技能等を適切に活用できるよう、取次送出機関が就職先のあつせんその他の必要な支援を行うこと」とされている点にご留意ください。</p> </div>			
③技能実習の終了後の措置予定	<input type="checkbox"/> 復職 (事業所: <input checked="" type="checkbox"/> 復職予定なし <input type="checkbox"/> 未定			

(注意)

- ①は、ローマ字で旅券 (未発給の場合、発給申請において用いるもの) と同一の氏名を記載するほか、漢字の氏名がある場合にはローマ字の氏名と併せて、漢字の氏名も記載すること。
- 個人農業者や家族経営の事業に従事していた者等の場合は、地方政府、業界団体等による証明でも差し支えない。

上記の記載内容は、事実と相違ありません。また、団体監理型技能実習の準備に関し、技能実習に関する法令に違反することは、決していたしません。

20××年 〇〇月 〇〇日 作成

外国の所属機関の名称 〇〇公司

作成責任者 役職・氏名 総経理 △△△ (印)